



# まちかど インタビュー

## 次回の開催が楽しみ 〜広野町みかんロードレース大会〜

3月28日(日)に、町民の健康づくりと町の振興やPRをかねて「広野町みかんロードレース大会」が開催されました。

当日は、はじめての開催にもかかわらず、町内はもとより、全国から920人余のランナーが集結し、ボランティアスタッフの協力もあって成功のうちに無事終了しました。

そこで今回は、大会に選手またはボランティアスタッフとして参加した皆さんに、大会の感想と次回に向けたご意見を伺いました。



阿部 知弘さん  
上北迫・石名坂

僕は走るのが好きで、ほかのロードレースにもよく出ています。

今回のみかんロードレース大会はスタッフも良かったし、沿道の応援も多く温かい声援を送ってくれ、なかには僕の名前を呼んでくれる人も

いて、リラックスして走ることができてとても良かったと思います。

ただ、10kmコースに高校生の参加者が少なかったため、これからはもっと増えればいいと思います。

何よりも「とん汁」が無料だったのが大変良かったです。次回も走れることを楽しみにしています。



新田 里子さん  
下北迫・東町

参加者の皆さんに喜んで食べていただきたいという思いで、前日より「とん汁」の材料をきざみました。

約1000人分という量の多さに驚きましたが、当日は大変寒かったこともあり、早めに食べていただくため、予定を変更して提供しました。

食べた皆さんからは「おいしいよ」「温まるよ」という言葉をいただき私たちの疲れも吹き飛びました。

第2回目の大会にも大変ですがボランティアとして参加したいと思いました。

## 編集後記

桜前線が北へ北へと進んでいる。

北国では今や遅しと待ち望んでいる人も多いことだろう。

町では入学式も終わり、新しいランドセルを背負う小学1年生の姿を見かけるようになった。

6月からは、いよいよ子育てを社会全体で支えようという趣旨で「子ども手当」の支給が始まる。

国策とはいえ、経済不況が続く中で、多く

の国民に負担増を強いる政策が真に国民の理解と合意を得られるのだろうか。

桜は、国民に等しく公平に喜びや感動を与えるからこそ愛されている。

国であれ、町であれ、一方に偏らない公平・公正な政策の立案を切に願いたい。

(渡辺久長)

発行・編集責任者

議長 坂本 紀一

広報委員会

委員長 中津 伸一

副委員長 渡邊 正俊

委員 鈴木 紀昭

委員 塩 史子

委員 渡辺 久長

委員 鈴木 正範

委員 遠藤 智



きれいに開花した桜

次の定例会は6月です